

.....
図 1 および図 2 を参考に以下の問いに答えなさい。

問1. 高齢化率とは「65 歳以上の人口割合」である。図 1 から、2005 年、2030 年および 2055 年の高齢化率を答えなさい。

2005 年 ... _____ %

2030 年 ... _____ %

2055 年 ... _____ %

問2. 「65 歳以上の人口」と「20 歳～64 歳の人口」との比を、「65 歳以上の人口」を 1 として「20 歳～64 歳の人口」を少数点第一位まで求めなさい。

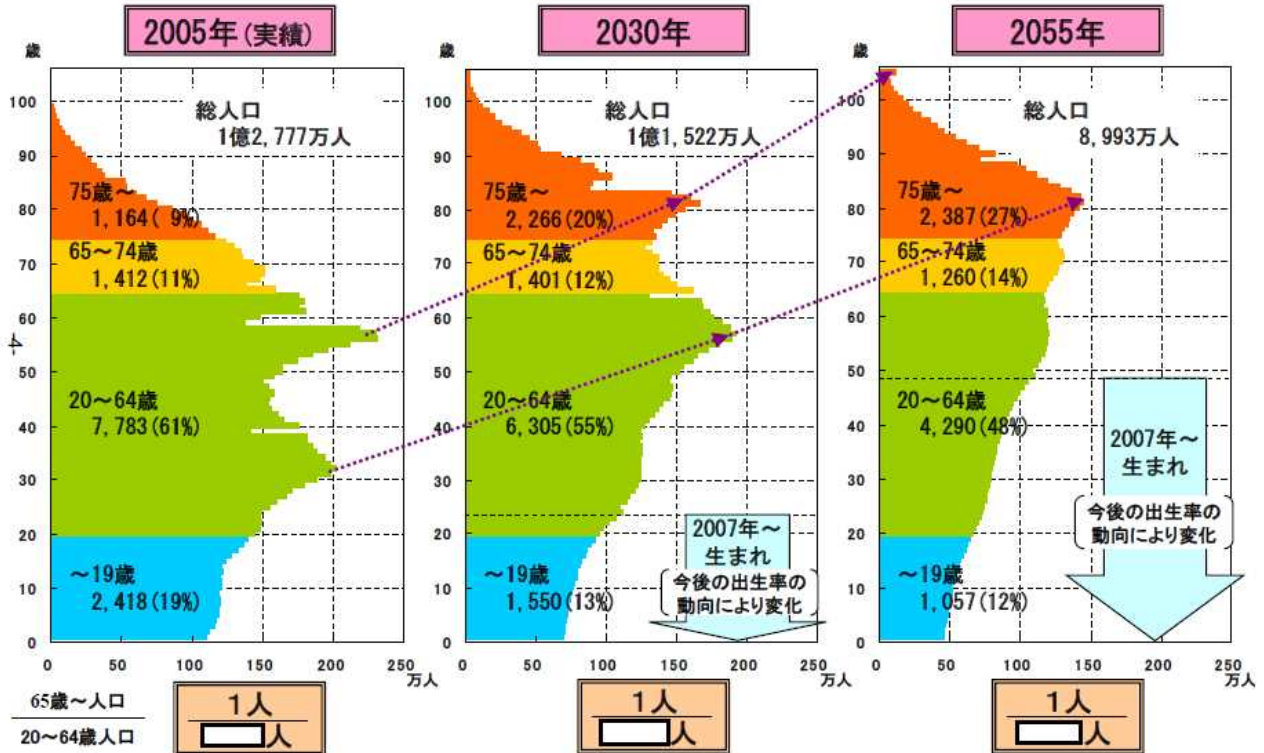
2005 年 ... 「65 歳以上の人口」：「20 歳～64 歳の人口」= 1 : _____

2030 年 ... 「65 歳以上の人口」：「20 歳～64 歳の人口」= 1 : _____

2055 年 ... 「65 歳以上の人口」：「20 歳～64 歳の人口」= 1 : _____

問3. 図 2 は平成 26 年の接骨院来院患者の年齢別分布である。図 1 の人口ピラミッドとあわせて、将来、接骨院が果たす社会的役割についてあなたの考えを述べなさい。

人口ピラミッドの変化(2005, 2030, 2055) - 平成18年中位推計 -



注: 2005年は国勢調査結果(年齢不詳按分人口)。

図1.人口ピラミッドの変化(厚生労働省、第18回社会保障審議会 資料3-1より)

患者の年齢別分布

○ 患者の年齢分布は、年齢の上昇とともに緩やかに上昇し、65歳から74歳の年齢層がピークとなっている。

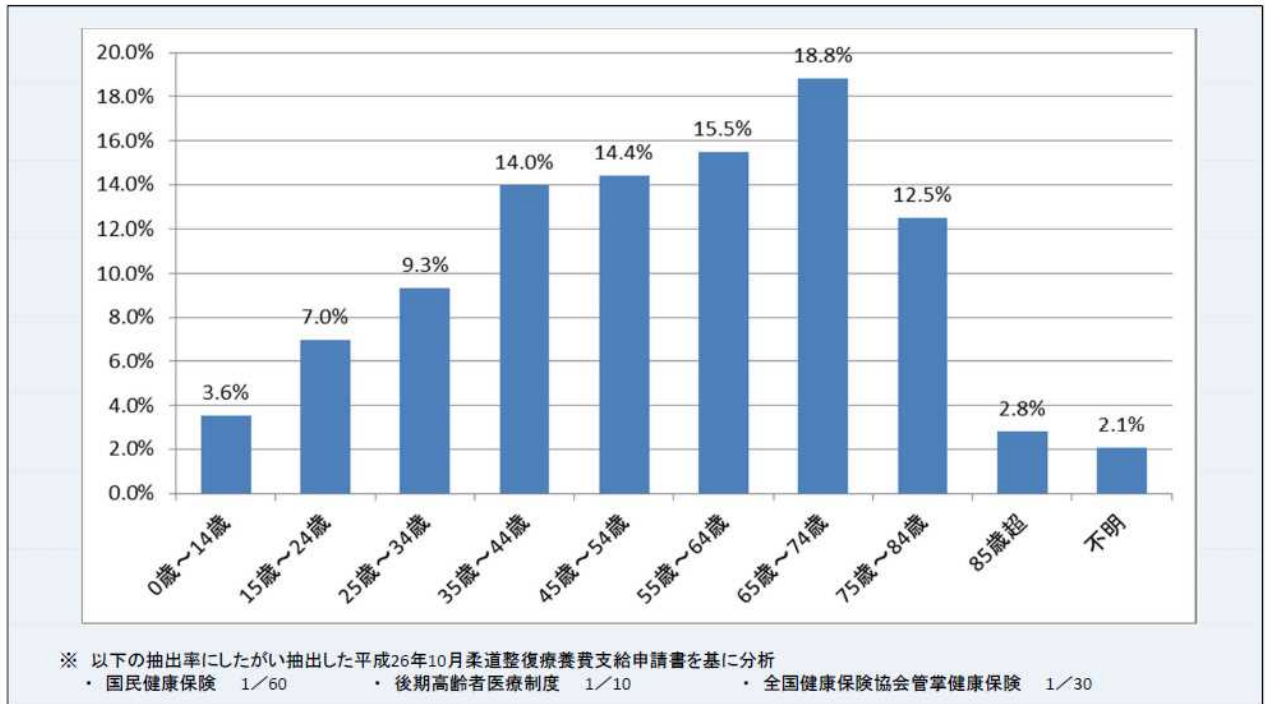


図2.接骨院来院患者の年齢別分布(厚生労働省、柔道整復の施術に係る療養費に関する現状と課題 資料柔-2より)

出典 図1: 「第18回社会保障審議会 資料3-1」厚生労働省、平成19年3月14日

図2: 「第4回社会保障審議会(医療保険部会 柔道整復療養費検討専門会)資料柔-2」
 厚生労働省、平成28年3月29日